

里だより

No.370

令和4年11月1日

—発行—

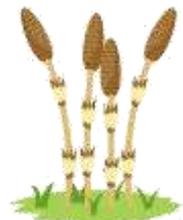
菊池郡大津町平川400番地

社会福祉法人 清和会

つくしの里

TEL 096-293-1550

FAX 096-293-1579



祝 敬老の日 つくしの里の方へ



大津北小 5年生より

令和4年9月

素敵な絵はがきをいただきました♪



約2ヶ月ぶりの
散髪です♪
みんなハッピー
で満面の笑み
(≡▽≡)



十一月号もくじ

施設長より……………1

サビ管より……………2

主任より……………3

職員より・事務局より……………4

サービス向上委員会より・

行事予定……………5

ありがとうございました・

編集後記……………6



施設長より

自分で決める力



九月半ばに発生したコロナウイルスによるクラスターでは、ご家族をはじめ、関係機関の皆様には大変ご心配をおかけしました。無事収束いたしました。その期間のイベント等は中止及び延期しました。楽しみにされていた利用者さんには大変申し訳なく思っている次第です。秋の里まつりは、利用者さんも心待ちにされていることから十一月末に延期しました。この日は、天気恵まれることを祈るばかりです。

さて、今年度の事業計画の重点取組課題の一つに「人権の擁護」を掲げ、その中に「意思決定支援の安定」という項目があります。取組方法としては、サービス向上委員会での意見の聴き取りや、権利擁護委員会での苦情・相談の受付を行っています。また、個別支援計画は利用者さんのニーズが反映されることから、利用者さんの強みや意見が活かされる体制を目指しています。コロナウイルスのクラスター下においては、なかなか意見を聴き取り、反映させられないことが心苦しいところです。本来であれば、どんな状況でも、積極的に実施した方が良いでしょうが、職員間の関りも分断している中ですので思うようには進みません。コロナ禍で心配なのは、コロナにかかることもですが、このような取組が中断し、意思決定・自己決定の力が弱まることです。つまり、自分で決める力が弱まっていることに周りの支援者が気づいていないことも課題だったりします。また、支援者側の聴き取

る力が弱まっていることも懸念されます。知らず知らずの内に、お互いがパワースレスの状態に陥っている可能性もありますので、今一度、支援者は聴き取る姿勢とはどのようなものか。利用者さんの強みやそれを引き出せる方法とはどのようなものかを見直す必要があります。そうした姿勢を求めているのは、利用者さんであることを再認識するチャンスです。利用者さんの「あれしたい、これしたい」をどこまで拾えて、どれだけ叶えるお手伝いができるか。利用者さんの「自分で決める力」を伸ばせるか。当然、費用面、倫理面等々、幾ばくかの制限はありますが、支援のプロとしての腕の見せ所でしょう。

職員が何でも決めてしまえば、簡単だったり、楽だったりする事も多いかもしれませんが、利用者さんには自分で決める楽しさを一つでも見出してもらいたいと願っています。

重点取組課題には、「サービスの質の向上」も掲げていますので、十一月には個別支援計画の中間報告と「利用者満足度調査」を実施します。利用者さん・ご家族のご意見が伺える大切な機会です。それぞれの重点課題は、利用者さんの生活の質を高めるために、また、人生を豊かなものにするために大切な取り組みです。この個別支援計画も利用者満足度も、利用者さんから職員への通信簿（評価）です。利用者さんから一つでも多く「〇（マル）」がもらえるように取り組んでいきます。

施設長 松永 一博

サビ管より

グループホームの皆さん

新型コロナウイルスの感染により、九月より一カ月以上、ご利用者をはじめ、ご家族並びに関係者の皆様方には多大なるご心配とご迷惑をおかけし、申し訳ございませんでした。陽性となられたご利用者が、重症化されなかったことは幸いでしたが、この期間、窮屈な生活を強いられた入所、在宅のご利用者の皆様に大変申し訳なく思います。

また、ご家族の皆様には、折に触れ、励ましのお言葉を頂き、職員一同大変心強く感じ、励みとなりました。この場をお借りし感謝申し上げます。

さて、今回はグループホームご利用者の日常について紹介します。現在、男性九名、女性七名、計十六名の方にご入居頂いております。内三名は他事業所の日中サービスを利用されています。三名とも毎日楽しみなようで、当施設が休日でも、各事業所を利用されている状況です。ご本人方も「今日は〇〇があつたけん良かったー」、「明日は〇〇があるけん、あれば持っていかなん」等、日常の様子をよくお話いただき、楽しみを持ってご利用になっていることが伝わり、私共も嬉しく感じます。

その反面、私共が行っているサービス、日常の支援においても、同じように日々の楽しみや喜びを感じられているのだろうかとか考えさせられる機会でもあり、ご利用者との何気ない会話や些細な行動等、細かに目を向け、想いを感じ汲み取る姿勢を忘れない

ようにしなければなりません。

グループホームでは、掃除や食事の準備等、当番制で皆さんに取り組んでいただいています。個々に困難な状況があっても、まずはご本人を理解し、その理解のもと、強みを活かしつつ工夫したアプローチをコツコツ続けていくことで、着実に変化を実感することが出来るように思います。

例えば、就寝の準備が出来るようになったり、朝から部屋のカーテンを開けることが出来るようになったり、気が向かなかつた掃除に自ら取り組むようになったり、部屋で過ごすことが当たり前だった生活の一部に運動の時間が組み込まれたり、洗濯物が干せるようになり、晴れの日には外干しが出来るようになったりと、些細なことに見えるかもしれませんが、生活を組み立てている一部が自身で出来るようになっていけると考えれば、着実にステップアップできているのではないのでしょうか。

まだまだ困りごとがある利用者、支援に困っている職員、お互いに困りごとは尽きませんが、毎日の生活を見せていただいている、見ることが出来ると捉えれば、日々、そのきっかけやチャンスにあふれています。

今後も皆さんと共に生活する気持ちを大事にして、楽しく充実した生活、安心できる暮らしを求め、一歩ずつ着実に踏み出せるような支援を続けていきたいと思えます。

支援課長 今田 有哉



主任より

意思決定支援について



つくしの里に入職した当初は、利用者さんの名前を覚えることが始まりで、それぞれの利用者さんとうやうやってコミュニケーションをとり、信頼関係を築いていくのか、どうすれば利用者さんの気持ちに沿った支援が行えるのかを考えながら行動していました。例えば、楽しい気持ちを伝えられる方や趣味を持っている方とは、その話題で盛り上がる事も出来ましたが、意思の疎通が難しい方は、その人の様子をみても分からない事だらけでした。利用者さんと上手にコミュニケーションをとる先輩職員をみて、いずれは自分も分かるようになりたいと思いつつながら過ごしていました。

年数を重ね、利用者さん・職員の入れ替わり、施設の状況や御家族の状況の変化だけでなく、環境面、利用者さん自身の身体面・感情の変化等を経験した今、思うのは、日々の試行錯誤が必要だという事です。

「意思決定支援」と聞くと難しく感じがちですが、着たい服を選ぶ、これが食べたい、このテレビが見たい等、日常的な場面面で、利用者さんの選択を支援する事が意思決定支援になると思います。例えば、朝起きた時に「今日は何を着たいですか？」と尋ねたり、新聞のテレビ欄から見たい番組を選んでもらったり、給食会議で意見を聞き献立に反映したり、ほんの少しの事で生活を豊かに出来ると思います。

以前はジュースを購入するにしても、これが飲みたいだろうと職員が選んで買う事もありました。ジュースの写真や実物を何本か並べる等、工夫することで利用者さんが自分で好きな物を選択する事ができて、お茶会の時間ももっと楽しい時間になりました。二〇一六年に「あおぞら宣言(知的障がい施設利用者宣言)」が出されました。その第2条で「自分のことは自分できめます」とあり「選択肢をもらえれば、自分で決められる事もある。決められない事は手助けしてほしい。できるのに手伝わってもらうのは違うと思う」という内容です。

自分たちの事は自分たちで決めたいと思うのは当然で、利用者さん自身の事を利用者さん抜きで職員が決めるのは間違っています。言葉やジェスチャーで伝えられない方もいらっしゃるのです。その人の好みや、楽しそうな表情を読み取らなければいけないと思います。

全てを完璧に利用者さんの想いを汲み取って意思決定支援を行う。充実した生活、ひいては人生を送ってもらおう。そのためには、一人ひとりの利用者さんの想いを感じ取り、個々に合わせた支援を行わなければなりません。上司・先輩から教えてもらった事、主任として指導しなければいけない事、後輩に伝えていく事、それぞれの立場で考えて、利用者さんそれぞれの答えをチームとして見つけていく必要があると思います。

これからもっとコミュニケーションをとり、利用者さんの日々の生活が豊かになる事を目指していきます。

主任支援員 山中 真史

職員より



施設内でコロナによるクラスターが発生し、利用者さんを始め、ご家族の皆様にはご心配とご迷惑をお掛けしました。世間ではノーマスクや、経済活動への緩和に向けた動きがニュースを通して報じられていますが、以前のような生活に戻るには、まだまだ時間がかかりそうだなと思いつつ、早く終わりが見えればと願う日々です。

私が担当しているNさんもコロナに罹患されました。笑顔でお話しされるNさんですが、静養期間は布団に入り、横になってつらそうな様子でした。コロナウイルスは人によって症状が様々で、発熱だけで他の症状はなく元気そうな方から、咳や鼻水、頭痛や胸の痛み等を訴える方まで幅広く症状が見られました。Nさんはよく話される方ですが、不調を自ら訴える事が殆どないので、目に見える症状以外にも、とてもつらい思いをされたと思います。今は回復されましたが、以前ほど笑顔が見られなくなり精神的にもつらかったのかもしれない。色々落ち着いたら、快気祝いにNさんと食事外出に行って、楽しい時間を過ごしたいと思います。

(支援員 松尾り)

私事ですが、今年、介護福祉士を受験します。自分自身の介護技術の向上、様々な疾病の理解を深め、専門的知識の獲得のため受験しよう決めました。勉強を始める前は介護や介助に関する知識が薄く、利用者支援をしている時、この方に今の支援方法は合っているのか、介護や介助で怖い思いをさせていないかなど、沢山の不安を感じながら支援をしていました。しかし今は資格の勉強をして半年くらいが経ち、だいぶ知識もつき、学んだことを仕事で活かす事が出来ています。利用者の方が安心して身を任せられ、頼りにされる支援員になれるよう、知識だけではなく、技術面も向上させていきたいです。試験は来年の1月末に実施されます。仕事と勉強の両立は難しいなど日々実感していますが、後悔しない様、残り約3か月しっかり勉強して介護福祉士の資格取得を目指します。

(支援員 田中)

事務局より



つくしの里でコロナの感染が広がり、新棟と旧棟の分離体制になり約1ヶ月。利用者さんが強歩などの活動を頑張っている姿が見えないので活気がないように感じます。通常の日課であれば夕方になると事務局に毎日遊びにいらっしゃる利用者さんがいます。満面の笑みで「お掃除頑張った!」、「〇月〇日入浴! 嗜好品ラテラテ(カフェラテ)飲む!」と沢山話してくれます。同時に、メモ用紙に今後の予定を書いたり、食べたい物の絵を描いたり1日に3枚以上ぎっしり書かれます。気がつくと冊子が出来るほどのメモ用紙が机に置いてあります(笑)。そんな日常がしばらく無かったので、もうすぐ来られる時間だなと考えることが少なくなり、メモ用紙が増えることもなく、とても寂しく感じます。通常に戻ったら、また事務局に遊びに来られることを楽しみに待ちたいと思います。他の利用者さんも、もちろんいつでもお待ちしております。

朝晩と日中の寒暖差が激しくなってきましたので、皆様くれぐれもご自愛ください。

(事務員 樋口)

サービス向上委員会より

■ 緊急対応【支援員 後藤・外山】

利用者の方々が安心・安全に生活できるよう、防犯及び様々な事故（誤薬や誤嚥等々）の際に、職員が適切に行動出来るよう取り組んでいます。万が一に備え、事例を挙げてわかりやすく対策を提起するようにしています。

上期は、新たな試みとして職員が不審者役となり施設に侵入した場合に、どの様に行動すべきかの防犯訓練や、AEDの使用方法に関するの情報提供など行いました。

利用者の方々も高齢化が進み、介助を必要とする場面が増えてきました。今後も職員一同、一丸となり利用者の方が怪我無く健康に過ごせるよう取り組んで参りたいと思います。



行事予定

☆ 生活介護③班外出（家族湯はなみずき）

期 日：11月2日（水）

内 容：10月の外出が延期となりましたが、BBQをお腹いっぱい楽しんで、家族湯にゆっくり浸かってコロナ疲れを癒してきます。



☆ 面談・通帳確認（つくしの里）

期 日：11月9日（水）～30日（水）

内 容：日程等は別紙をご確認ください。ご都合が合わない場合は調整いたします。

☆ 生活介護②班お楽しみ会（つくしの里）

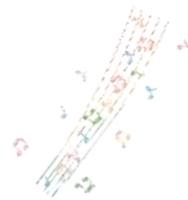
期 日：11月15日（火）

内 容：おいしいお弁当を食べて、みんなで楽しく過ごす予定です♪

☆ インフルエンザ予防接種（つくしの里）

期 日：11月22日（火）

内 容：インフルエンザの流行が懸念されますので予防に努めます



☆ やさしさいっぱいコンサート（大津町生涯学習センター文化ホール）

期 日：11月23日（水）

内 容：保護者会様主催のコンサートを今年も開催できそうです。思い切り楽しみたいと思います。



☆ 秋の里まつり（つくしの里）

期 日：11月29日（火）

内 容：コロナウイルスクラスター発生により開催を延期しましたが、利用者さんと職員で、元気いっぱいの秋まつりにします！

ありがとうございました

今月の掲載分は、

令和四年九月二十一日～

令和四年十月二十日です

【寄付・寄贈】

- ・井本チカ子様 ・岩根亨様
- ・岩根治美様 ・岩根麻由美様
- ・大島照雄様 ・高宗良子様
- ・三上貴宏様 ・光永順子様
- ・山本直美様 ・渡辺和子様
- ・川上信代様 ・坂本励帆様

誠にありがとうございました。

利用者さんの為に使用させて頂きます。

編集後記

夏のように暑い日と、冬のような寒い日が毎日ように入れ替わり、衣替えもままならないですね。朝夕と日中の寒暖差も大きくて、何を着たら良いのかわからなくなり、体調管理も難しいですが、こんな時こそ、自分自身をこまめにケアして、本格的な冬に備えましょう。



施設PR委員会 今月の1枚!



体力増進! 頑張っ外を歩いています



※お詫びとおことわり
里だより担当では、毎月十分注意して、記事の記載・確認をしておりますが、誤字脱字等がございましたら、何卒ご容赦していただきたく存じます。

いつもの活動も元気いっぱい☆

